佐波川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～幸せますのまちの母なる川と共存、命を守る流域治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、佐波川水系においても流域全体で事前防災対策を進める必要があります。
○佐波川は一度氾濫が発生すると上流は浸水深が深くなりやすく、下流は流域外に浸水範囲が広がりやすい特徴があり、上流では浸水被害に対応出来る拠点施設の整備、下流では被害対象を減少させる対策、河川整備としては上下流の氾濫特性をふまえバランスの取れた事前防災対策を進めます。
○以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間の下流区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和26年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

凡例
- 浸水範囲（昭和26年7月洪水と同規模想定）
- 大臣管理区間
- 国、県、市河川等整備
- 森林整備・保全（国有林、市有林、私有林）
- 市庁舎等建替・移転
- 防府市公共下水道事業計画区域（雨水）

【位置図】



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・防災拠点や医療拠点を繋ぐ道路ネットワークの整備
- ・災害復旧拠点となる徳地総合支所の建替
- ・土のう等の備蓄資材の配備
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を掲載したハザードマップの配布及び住民説明会の実施
- ・タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の促進
- ・避難行動要支援者への個別避難計画の作成促進



災害復旧拠点となる山口市新徳地総合支所ｲﾒｰｼﾞ図



固定堰の改築（岸見堰など）

災害リスクの低い地域への居住誘導イメージ（防府市）

■被害対象を減少させるための対策
- ・立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域へ居住誘導
- ・災害リスクの低い場所での支所等整備

■グリーンインフラの取組　詳細次ページ

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削、堤防整備、支川処理、橋梁架替　固定堰の改築、防潮堤等
- ・砂防堰堤の整備
- ・下水道等の排水施設の整備
- ・準用河川及び普通河川の浚渫
- ・農業水利施設の整備、水田貯留機能の向上
- ・中関地区周辺の排水施設・排水機場の整備
- ・雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進
- ・既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（国、山口県）
- ・治山事業の推進及び森林の整備・保全（山口森林管理事務所、森林整備センター、山口市、周南市）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

佐波川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～幸せますのまちの母なる川と共存、命を守る流域治水対策の推進～

●佐波川では、上下流本支川の流域全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短　　期】下流区間（防府市街地）の浸水被害を解消するため河道掘削、支川処理などの整備や逃げ遅れゼロを目指した、立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導、水害リスクを考慮した防災拠点等の整備を実施。
【中期・中長期】佐波川の上流区間の家屋浸水被害を防ぐため河道掘削、堤防整備、固定堰の改築等を実施。あわせて、森林の整備・保全やハザード情報の共有などを継続的に実施することで流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	事業主体	対策工程
			短期 / 中期 / 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下流区間の防府市街地を守る河道掘削、支川処理	山口河川国道事務所	防府市街地の浸水被害解消 → 防府市佐野～小野地区（上流区間の家屋浸水被害解消）
	上流区間の家屋浸水を防ぐ河道掘削、堤防整備、固定堰の改築	山口河川国道事務所	県道横曽根橋　完成 → 山口市岸見～徳地地区
	横曽根川下流区間等の防潮堤整備、橋梁架替、河道掘削	山口県	県道横曽根橋付近の整備 → 防潮堤整備、河道掘削、橋梁架替
	砂防堰堤の整備	山口県	砂防堰堤の整備 → 砂防堰堤の整備の推進
	雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進	山口市	継続的な制度の利用促進
	下水道等の排水施設の整備	防府市	団平川排水区の整備 → 清水川排水区等の整備
	準用河川及び普通河川の浚渫	防府市	緊急浚渫推進事業の活用（片山川・塚原川・三谷川等） → 継続的な浚渫の推進
	治山事業の推進	山口森林管理事務所	山口森林計画区 → 次期計画策定 → 次期計画
	森林の整備・保全	山口森林管理事務所 森林整備センター 山口市・周南市	山口森林計画区 → 次期計画策定 → 次期計画 山口市徳地地区・周南市巣山地区
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導	防府市	立地適正化計画の策定（R3） → ハザード情報の共有　→　土地利用誘導等
	災害リスクの低い場所での支所等整備	周南市（地元との連携により）	周南市和田地区
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災拠点や医療拠点を繋ぐ道路ネットワークの整備	山口県・防府市	防災広場・道路・農道の整備等
	避難確保計画、個別避難計画の作成促進	山口市・防府市・周南市	作成促進
	災害復旧拠点となる徳地総合支所の建替	山口市	洪水・浸水に対応出来る支所・市民センターの整備 徳地総合支所建替
グリーンインフラの取組	固定堰の改築や河道掘削による安定的なエコトーンの保全	山口河川国道事務所	防府市佐野地区～山口市徳地地区
	河川協力団体など地域と協力して取り組む自然環境学習	山口河川国道事務所	防府市植松～迫戸地区
	森林整備による水源涵養、雨水貯留浸透機能の維持増進及び土砂災害防止、土壌保全機能等の向上	山口森林管理事務所 森林整備センター	森林整備

■事業規模
河川対策（約１９１億円）
下水道対策（約２億円）

気候変動を踏まえた更なる対策の推進

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

佐波川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ 幸せますのまちの母なる川と共存、命を守る流域治水対策の推進～

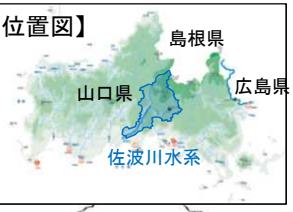
グリーンインフラ
自然と共に創る社会インフラ

●グリーンインフラの取り組み　『森林整備による健全な水循環系の回復及び動植物の生息・生育環境の保全・再生』

○ 佐波川水系では、日本三大天神の防府天満宮において、アユにまつわる神事（金鮎祭）があるように、アユをはじめとする多様な生物が生息・生育する良好な環境がある。上流域には、東大寺再建に用いられた山口県内最大の滑山国有林を有するなど、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。

○ 佐波川国管理区間では、固定堰の改築をはじめ大規模な河道掘削を予定しており、動植物の生息・生育環境の保全・再生を目標とした、縦断的連続性の確保が重要です。また、森林整備では、間伐等による森林の持つ水源涵養、雨水の貯留浸透等機能の維持増進や森林整備による健全な森林（森林土壌を含む）を育成し、土砂災害防止、土壌保全機能等の向上を図るなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

【位置図】



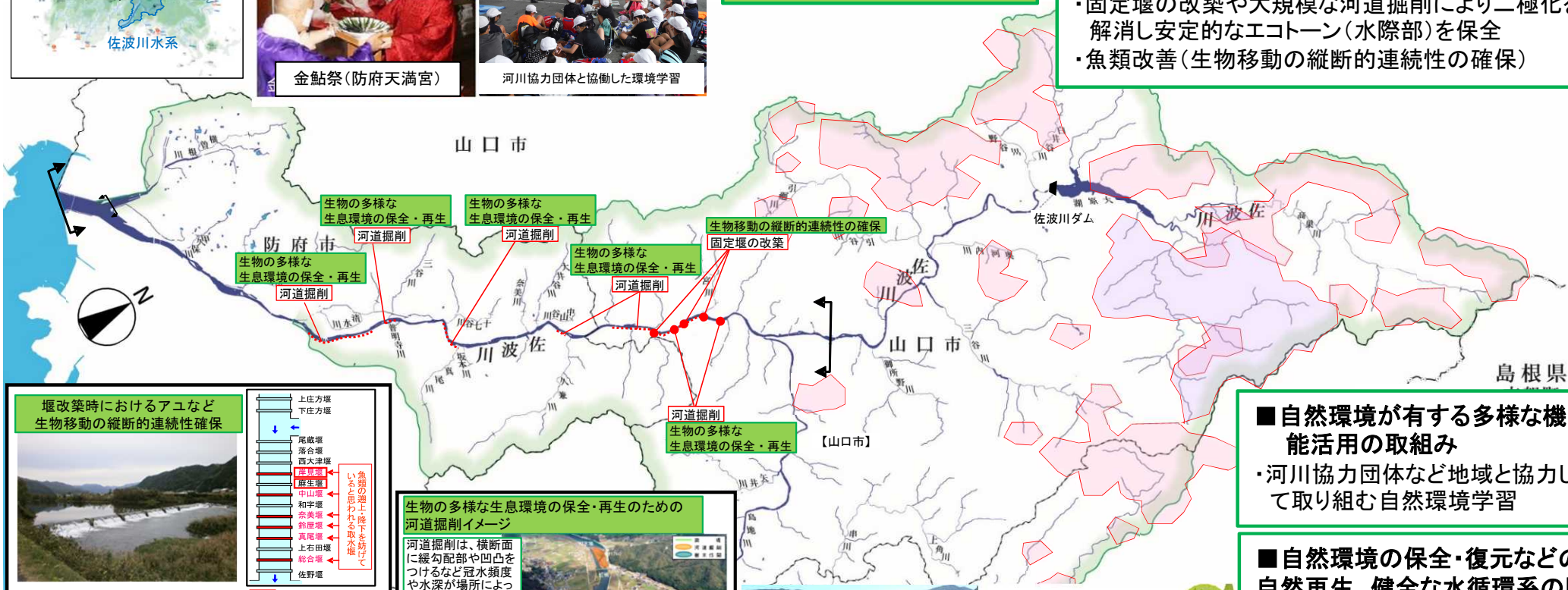

金鮎祭（防府天満宮）


河川協力団体と協働した環境学習

【全域に係る取組】
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

■治水対策における多自然川づくり

・生物の多様な生息・生育環境の保全・再生
・固定堰の改築や大規模な河道掘削により二極化を解消し安定的なエコトーン（水際部）を保全
・魚類改善（生物移動の縦断的連続性の確保）



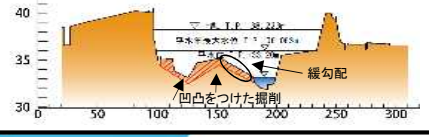
堰改築時におけるアユなど生物移動の縦断的連続性確保

魚道改善等

生物の多様な生息環境の保全・再生のための河道掘削イメージ

河道掘削は、横断面に緩勾配部や凹凸をつけるなど冠水頻度や水深が場所によって異なるよう多様な形状となるよう配慮





凡例
- 大臣管理区間
- 国河川整備
- 森林整備・保全（国有林、私有林）
- 治水メニュー
- グリーンインフラ対象事業


森林整備状況



※資料：村井宏・岩崎勇作「林地の水及び土壌保全機能に関する研究」
水源涵養機能イメージ
（林野庁webサイトより）

■自然環境が有する多様な機能活用の取組み

・河川協力団体など地域と協力して取り組む自然環境学習

■自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復

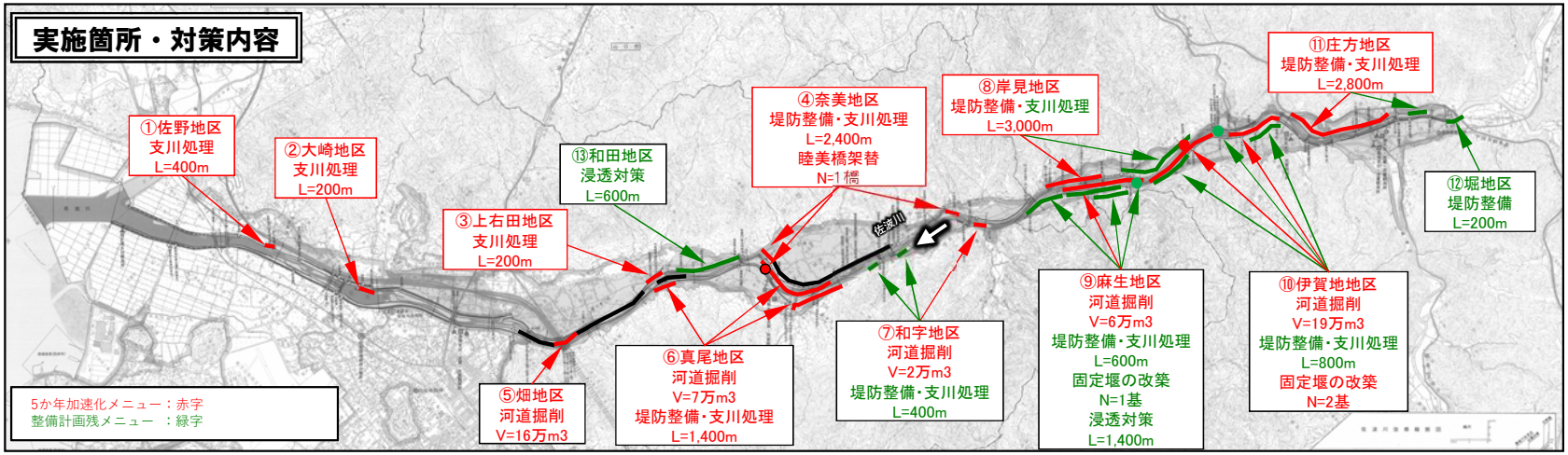
・間伐等の森林整備による水源涵養、雨水の貯留浸透等機能の維持増進
・森林整備による健全な森林（森林土壌を含む）の育成、土砂災害防止、土壌保全機能等の向上

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

佐波川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～幸せますのまちの母なる川と共存、命を守る流域治水対策の推進～

短期整備（５カ年加速化対策）効果　：　河川整備率　約68%→約76%



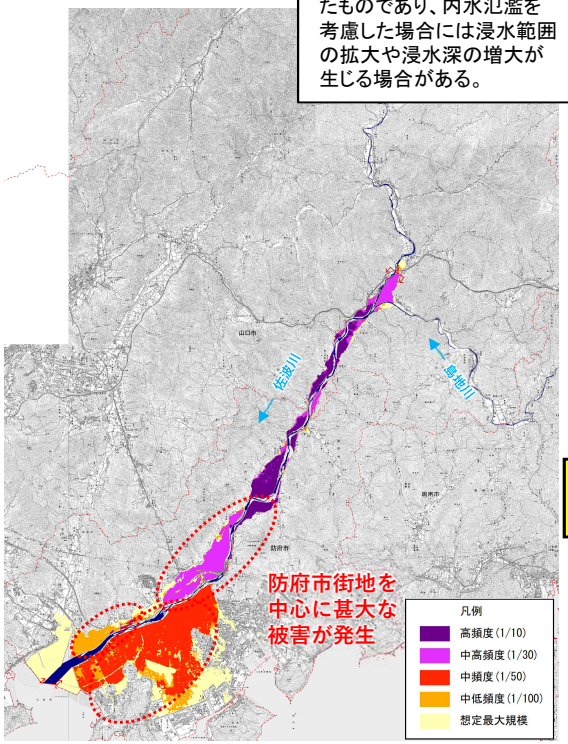
畑地区～麻生地区までの河道掘削及び佐野地区、大崎地区等の支川処理を実施することにより、戦後最大のS26洪水でも12kから下流の区間において越水による家屋浸水被害を解消することが可能となる。

区分	対策内容	区間	工程
			【５ヶ年加速化対策】短期（R3～R7年）1/2→1/25（12k下流区間）
			中期（R8～R24年）1/25→1/25（12k下流区間）1/2→1/6（12k上流区間）
氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	⑤畑地区	R3 100%
		⑥真尾地区	50% → 100%
		⑦和字地区	100%
		⑨麻生地区	100%
		⑩伊賀地地区	13% → 100%
	堤防整備・支川処理	①佐野地区	100%
		②大崎地区	100%
		③上右田地区	100%
		④奈美地区	100%
		⑥真尾地区	100%
		⑦和字地区	100%
		⑧岸見地区	30% → 100%
		⑨麻生地区	100%
		⑩伊賀地地区	100%
		⑪庄方地区	13% → 100%
		⑫堀地区	100%
	睦美橋架替	④奈美地区（睦美橋）	100%
	固定堰の改築	⑨麻生地区（麻生堰）	100%
		⑩伊賀地地区（岸見堰）	25% → 100%
		⑩伊賀地地区（西大津堰）	100%
	浸透対策	⑬和田地区	100%
		⑨麻生地区	100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

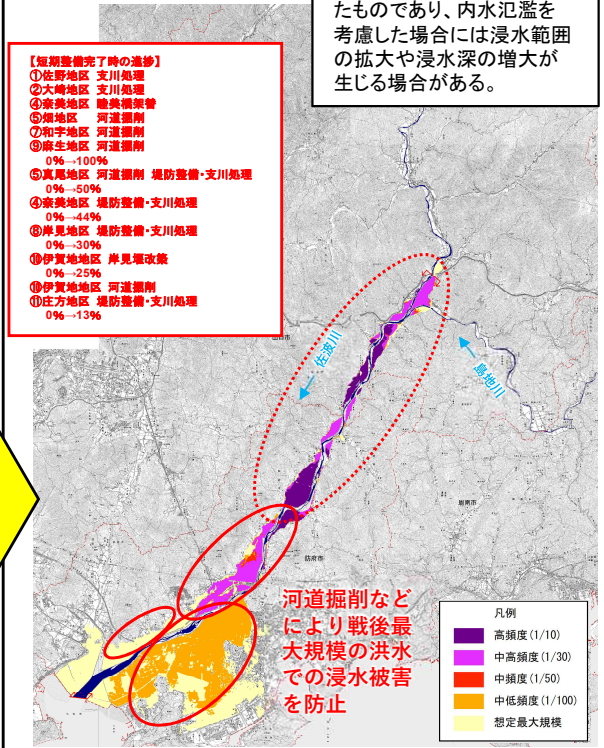
現在

注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。



短期

注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。



佐波川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～幸せますのまちの母なる川と共存、命を守る流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）

整備率：７６％

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用

１市

（令和4年度末）

流出抑制対策の実施

５施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

治山対策等の実施箇所　１箇所

（令和4年度実施分）

砂防関係施設の整備数　１施設

（令和4年度完成分）

※施工中　１施設

立地適正化計画における防災指針の作成

０市

（令和4年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備

洪水浸水想定区域　２河川

（令和4年9月末時点）

※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定区域　０団体

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保

避難確保計画　洪水４３９施設　土砂１６６施設

（令和4年9月末時点）

個別避難計画　３市

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■治山事業の推進及び森林の整備・保全（周南市）



島地川ダム上流の森林



間伐作業状況



列状間伐実施後

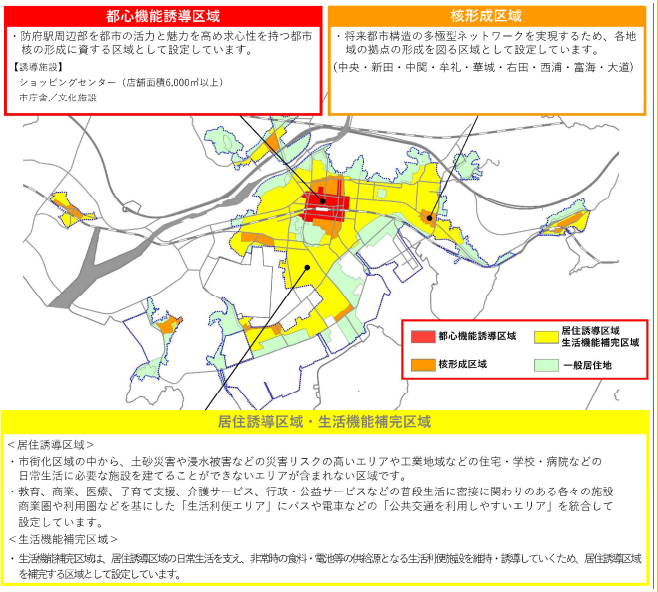


伐採材搬出状況

- 森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、健全な森林資源の維持造成を推進する。
- 生物多様性の保全、地球温暖化の防止への役割を果たし、懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化にも考慮しつつ、適正な森林施業の実施や森林保全の確保に努める。

被害対象を減少させるための対策

■立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導（防府市）



防府市立地適正化計画　区域図

- 人口減少や少子高齢化といった社会情勢を鑑み、将来にわたり、居住するうえでの利便性や都市の活力を維持向上できるように、災害リスクが高い地域から低い地域への居住の誘導を図る。
- 市街化調整区域における開発許可要件等の見直しを行い、災害リスクが高い地域から低い地域への居住の誘導を図る。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

■災害復旧拠点となる徳地総合支所の建替（山口市）



山口市新徳地総合支所（R4.11.20落成）

- 徳地総合支所、徳地地域交流センター、徳地保健センター、徳地診療所、消防車庫、徳地文化ホールを一体化した地域拠点の中核施設であり、被害の軽減、早期復旧・復興のための災害復旧拠点となる徳地地域の重要な施設である。





屋上に設置された発電機　総合支所と一体化した診療所